

朝市がサルビア賞受賞



去る2月3日(土)加西市健康福祉会館で開催された加西市区長会の総会において「令和5年度加西市善意の表彰贈呈式」がありました。

開会の後、区長会の新役員紹介、区長会長あいさつに続き、市長、市議会議長のあいさつがあり、区長会の新役員始め、多くの来賓の見守られる中、善意の表彰式が挙行されました。加西市善意の表彰「かしの木賞(個人)」は児童の見守り活動ならびに防犯活動や、まちづくり推進活動、青少年の健全育成活動に尽力された10人が受賞(宇仁地区では繁田昭彦さんが受賞)されました。続いて「サルビア賞(団体)」の表彰があり、宇仁の朝市が栄誉ある受賞に輝きました。この受賞は区長会の推薦によるもので、推薦内容は朝市の活動がまちづくりの推進に寄与したとのことでした。

内容を紹介しますと、「平成21年にオープンした朝市は、ボランティアスタッフにより、宇仁地区だけでなく近隣市や市内のイベント、芦屋まちづくり協議会との交流事業として芦屋市翠ヶ丘町でも出店、昨年12月には開催回数を通算1,500回となり、農産物の地産地消、交流の場として地域の方々に親しまれ、地域活性化に寄与している。」

このような栄誉に浴したことで関係者一同励みになり、これからの活動の源にしたいと考えています。

(宇仁の朝市部会 繁田進作)

小さな学校でも、今も昔も変わらず大きな学校には負けていません

【☘宇仁小学校が快挙!『学校賞』を受賞】

12月26日、神戸市中央区の大丸神戸店で『第96回兵庫県小・中・高校絵画展』の表彰式があり、宇仁小学校が学校賞を受賞しました。

この展覧会は、大正14年に始まり、県内の児童・生徒の作品展としては、最も長い歴史を持つ伝統ある絵画展です。各学校の学年各1点を出品し、入選・特選の個人賞が選ばれるとともに、優れた小・中・高校各1校に学校賞が与えられます。宇仁小学校は、なんと出品した6人(1年鷹取遵さん・2年常峰海翔さん・3年繁田勘介さん・4年石山漣音さん・5年丸岡愛さん・6年原呼也さん)の内5人が特選、1人が入選し、県内で1つの小学校しか選ばれない学校賞(県芸術文化協会賞)を受賞するという偉業を成し遂げました。先月紹介した作文の内閣総理大臣賞受賞に引き続いての嬉しい案件です。



【 地域の人と交流して、コミュニケーション能力を培うことが重要 】

ベストセラー「頭のよい子が育つ家」の著者:四十万靖(しじまやすし)さんが「0歳から12歳までの過ごし方」の講演で、「子育てをする上で、親は、勉強の答えを教えるのではなく、勉強を始めるきっかけを作ることが大切で、家族だけでなく、地域の人と交流してコミュニケーション能力を培うことが重要です。」と、述べられています。

宇仁郷には、小学校を核として、他の小学校地区にはない地域全体で子ども達の成長を支えていくための体制や地域住民との交流が多くあり、小規模校の良さを活かした教育と子ども達が心豊かに成長をしていける地域環境があることに感謝しています。

(宇仁小学校PTAより)

2024年度宇仁校区区長会より

令和6年度の宇仁郷各町の区長が選出されました。町別に報告します。

青野町:菅田晃三(留任) 油谷町:宇仁英樹(新任) 鍛冶屋町:繁田宜久(留任)
小印南町:常峰正勝(留任) 田谷町:民輪博且(新任) 国正町:志方信文(新任)



どうか、ご支援よろしくお願ひいたします。

今年度は、元旦から大きな天災が起こり、続いて人災もございました。地震災害につきましては、私たちは阪神淡路の震災のことが脳裏から消えません。私達も出来るべき備えを見直す時と考えます。みんなで考え工夫して、安全第一を目指しましょう。羽田空港の飛行機事故も乗員乗客の協力で全員が無事に避難出来た、2分間の素晴らしい乗員乗客の行動に感動しました。

私達の校区に対しては、加西市の学校再編に関する大きな問題が出ております。小中学校の統合問題です。皆さんの意見を賜り、前向きな活動を行って行きましょう。私達も不安いっぱいの中で校区・町行政を行いますので、校区の皆様方ご協力を宜しくお願ひいたします。
(宇仁校区区長会、志方信文)

小学校で熱気球搭乗体験

2月1日(木)早朝、宇仁小学校で熱気球の搭乗体験が行われました。搭乗した児童達の感想の一部を紹介します。

- ① 木よう日に気きゅうにのりました。見ていたらこわかったけど、のったらへいきでした。はじめて気きゅうにのったので、「気きゅうってこんなにたかいんだ。」と、おもいました。気きゅうは、とても大きかったです。あしたものるけど天気どうかなあ。(1年 つねみね みく)
- ② 2月1日木よう日に気きゅうにのりました。まつときは見ていたら、こわいとおもいました。のったときはこわくなかったです。でも気きゅうの火があつかったので、手がきもちよかったです。つぎは、かぞくぜんたいでのりたいです。(1年 石山 みな音)
- ③ 2月1日に気球に乗りました。気球に乗るなんて聞いていなかったのでびっくりしました。朝来たら大きな気球があって、今日乗るのかなとわくわくしました。乗る前に先生たちが乗っているのを見たら、高くてこわそうだなと思いました。でも実さい乗ってみたら、高くてこわいより火の音が大きくてびっくりしました。一回乗ってみたら、楽しいしもっと乗りたいという気持ちでいっぱいになりました。そう思っていたら、最後にもう一回乗れたのでうれしかったです。そして、片付けをするときに、トランポリンみたいにはねていがいと楽しかったです。でも車に気球をたたんで入れるのは大変でした。しつもんをしてより気球のことを知れました。(4年 高瀬 理子)
- ④ 2月1日の朝、運動場に気球が上がっていました。わたしは、登校しているときに宇仁小学校の運動場から気球が上がっていたので、とてもびっくりして、わくわくしました。わたしは、あんなに近くで気球を見たことがなかったので、大きすぎて、おどろきました。気球にのれることが分かったときは、とてもうれしかったです。たくさんの人がのっていてもあたたかい空気でごくごくなって、すごいなと思いました。気球のかたづけは、1人だけでもとてもおもかったです。一日にたくさん気球を上げたときとかは、よりたいへんでがんばっていることが感じました。気球のことについて、たくさん知れたので、よかったです。またのりたいです。(4年 本岡 心陽)



宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達②

宇仁郷まちづくり協議会

12. 市議会総務委員会に出席し宇仁小の早期建設着手を訴える(その3)

『4点目の問題、は八王子神社の問題です。市長も副市長も八王子神社には随分いろんな形でお越しいただき、議員の先生方もよくご存じかと思ひます。神社の表参道は学校のため昭和34年に閉鎖をして学校を建てた経緯があり、昭和33年に当時の泉町長に、“この用地を学校のためにお貸しします”との文書が神社に残っておりますが、当時総代会は表参道閉鎖に苦渋の選択を致しました。』

この12月15日に宇仁郷8町・芳田郷8町の総代16名、区長16名からなる総代会が開催され、表参道の返還問題は加西市と議会に度重なる請願をしてきたが、“今どのようになっているのか確かめていただきたい”と問われたので、明日16日に市議会総務委員会に招致されているので、総代会の意向を踏まえ表参道の早期返還を質しますと述べました。』--- 次号に続く

* 小学校は地域の核・八王子神社表参道の返還を述べそれ以外は紙面の都合上割愛しました。

